あんどん　2022

～ yame-C-style ～

１．団体について

◯設立目的

お盆に提灯の灯りを通して

先祖を敬う心と提灯の歴史ある伝統技法を守りたい

提灯業界に携わる若手メンバー（50歳未満）で設立
【構成員　9名】　【設立年月　平成30年11月】

◯活動実績

【提灯展示】　・九州国立博物館（R1.11～R2.10）
・福岡県庁よかもん広場（常設）
【その他】　・オリンピック公認の『八女提灯』を販売　など

２．活動の内容

〇目的

八女提灯の魅力とお盆提灯の意義を発信し、

提灯への興味関心を引き立て、先祖を供養する文化を広める

〇活動の概要

- □　提灯・盆提灯の展示、販売
- □　提灯の絵付け体験
- □　提灯張り、提灯絵付けの実演
- □　スタンプラリー

令和４年度　市民との協働によるまちづくり提案事業　活動事例報告

◯活動のスケジュール

日程	活動内容	参加人員
4月 22日	イベント実行委員会	9人
5月 6日		9人
12日		9人
23日		9人
27日	あんどん2022	500人
28日		700人
29日		550人

◇スタンプラリー参加者　197人
◇絵付け体験参加者　160人

yame-C-style

令和４年度　市民との協働によるまちづくり提案事業　活動事例報告

◯活動の様子　～活動PR用提灯の制作～

yame-C-style

令和４年度　市民との協働によるまちづくり提案事業　活動事例報告

◯活動の様子　～八女福島の町並みと提灯～

yame-C-style

令和４年度　市民との協働によるまちづくり提案事業　活動事例報告

◯活動の様子　～提灯の展示や絵付け体験など～

yame-C-style

３．活動の成果

〇絵付け体験は全時間枠満席となった点

〇小学生から年配者、家族連れや友人同士やカップルなど、
幅広い層の来場者にお越しいただいた点

〇２回目の開催で、リピーターに加えて初めてお越しの来場者
が多くいた点

〇提灯以外に地域の方の協力でマッサージや
虫よけスプレーづくりコーナーも設けたことで、
滞在時間を長く取ってもらえたことでイベントとして認識
していただけた点

４．活動の課題

〇新型コロナウイルスの為に開催の可否の判断が遅れ、
　告知しづらかった。

〇前回とほとんど似た内容になっている。

〇来場者の感想を聞く機会がない。

〇ポスターの紙媒体の告知と合わせてSNSの発信をする。

〇より魅力あるイベントを開催するための豊富な資金集め。

５．今後に向けて

〇定着イベントにして啓蒙活動のPR効果を上げていく。

〇提灯文化を伝統工芸として継承しつつ発展を目指す。

〇「あんどん」=八女のイベントとなることを目指す。

〇継続的なイベントと合わせて新たな取り組みを行い、
　八女提灯の可能性を広めていく。

〇八女市・福岡県と連携を深め、交流を増やしていく。

ご清聴ありがとうございます。

盆提灯の製作がんばります。